

平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月9日

上場会社名 丸尾カルシウム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4102 URL http://www.maruo-cal.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 源吉嗣郎
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 今井一史 TEL 078-942-2112
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	5,672	△1.7	327	136.1	366	104.3	249	109.1
28年3月期第2四半期	5,768	6.7	138	11.6	179	△1.1	119	△4.2

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 449百万円 (ー%) 28年3月期第2四半期 △450百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	110.92	105.88
28年3月期第2四半期	53.11	51.11

※平成28年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	13,450	7,446	52.8
28年3月期	13,206	7,049	50.8

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 7,096百万円 28年3月期 6,710百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	ー	0.00	ー	6.00	6.00
29年3月期	ー	0.00	ー	ー	ー
29年3月期(予想)	ー	ー	ー	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

29年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 記念配当 5円00銭 (創立90周年記念配当)

※平成29年3月期(予想)の1株当たり期末配当金及び年間配当金合計につきましては、株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,600	△3.8	510	25.8	590	22.1	385	24.4	171.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※平成29年3月期(通期)の1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	2,342,000株	28年3月期	2,342,000株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	94,585株	28年3月期	94,443株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	2,247,478株	28年3月期2Q	2,244,957株

※平成28年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

当社は、平成28年6月28日開催の第68回定時株主総会において、株式併合、単元株式数の変更について承認可決され、平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施し、単元株式数を1,000株から100株に変更しております。なお、株式併合考慮前に換算した平成29年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成29年3月期の配当予想

1株当たり配当金 期末 普通配当 6円00銭
記念配当 1円00銭（創立90周年記念配当）

2. 平成29年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益 通期 34円26銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年9月30日)の世界経済については、昨年来の原油を中心とする資源安を背景に、総じて緩やかな安定成長が続きました。米国経済は堅調な個人消費と緩やかに拡大する雇用市場に支えられ底堅く推移していますが、大統領選挙の先行き不透明感が市場の減速要因となっています。欧州経済は、英国のEU離脱、ギリシャ・イタリアの多額の不良債権問題、難民受け入れをめぐる各国の足並みの乱れ等不安定要因に事欠かず金融緩和を継続しています。アジアにおいても、過剰設備の淘汰に悩む中国の成長鈍化により総じて経済は勢いを欠きました。一方、ロシア・ブラジル等の資源国においては、資源安が経済の重しとなっています。

我が国経済は、低水準のエネルギー価格に支えられ、企業業績はまず順調に推移し、個人消費も雇用の増加、実質所得の伸びを背景に持ち直しつつありますが、不安定な株価・為替動向に不透明感は拭えず、日銀は「長短金利操作付き量的・質的緩和政策」という新たな金融緩和策を打ち出しデフレ脱却をめざしています。

このような状況下、当社グループにおきましては、顧客ニーズに基づく製品の改良・安定生産を目指した設備改良を実施、中期的利益拡大を目指した製品群の安定供給体制の確立、コスト削減を図るための製造工程の見直しを実施いたしました。

業績につきましては、当社グループ製品の売上高は増加いたしました。扱ひ商品の減少並びに円高の影響を受けた結果、売上高は56億72百万円(前年同期比96百万円、1.7%減)となりました。営業利益につきましては、高機能製品の売上増加、安定供給を目指した設備改良による稼働率の向上、生産コスト改善施策の実施により、3億27百万円(前年同期比1億88百万円、136.1%増)と大幅に増加いたしました。経常利益につきましては、円高による為替差損の増加もありましたが、3億66百万円(前年同期比1億87百万円、104.3%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、2億49百万円(前年同期比1億30百万円、109.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ2億43百万円増加し134億50百万円となりました。これは主に上場株式の時価上昇により投資有価証券が5億37百万円、現金及び預金が1億97百万円増加したことに対し、受取手形及び売掛金が2億18百万円、減価償却の進行などにより有形固定資産が1億21百万円減少したことによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べ1億53百万円減少し、60億3百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が1億89百万円、長短借入金返済により2億37百万円減少したことに対し、その他項目中の繰延税金負債が投資有価証券の増加により1億14百万円、設備未払金の増加により未払金が57百万円増加したことによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ3億97百万円増加し74億46百万円となりました。これは主に利益剰余金1億81百万円、その他有価証券評価差額金2億76百万円の増加などに対し、円高による為替換算調整勘定71百万円の減少によるものです。自己資本比率につきましては前連結会計年度末の50.8%から2ポイント上昇し52.8%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前連結会計年度末と比べ1億38百万円増加し17億75百万円となりました。

営業活動の結果増加した資金は7億38百万円(前年同期は5億64百万円の増加)で、これは主に税金等調整前四半期純利益3億64百万円、減価償却費3億14百万円、売上債権の減少1億92百万円、たな卸資産の減少57百万円などによる資金の増加に対して、仕入債務の減少1億97百万円、未払消費税等の減少71百万円、法人税等の支払76百万円などによる資金の減少によるものです。

投資活動の結果減少した資金は2億68百万円(前年同期は2億72百万円の減少)で、これは主に投資有価証券の取得による支出1億41百万円、有形固定資産の取得による支出1億7百万円、定期預金及び積立預金の預入による支出68百万円によるものです。

財務活動の結果減少した資金は3億3百万円(前年同期は15百万円の減少)で、これは主に長期借入金返済による支出2億34百万円、配当金の支払67百万円などの支出によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年8月5日に公表いたしました通期の連結業績予想及び配当予想につきましては、予想を修正しております。詳細につきましては、平成28年11月8日公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正(記念配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,754,725	1,952,639
受取手形及び売掛金	4,330,049	4,111,834
商品及び製品	512,511	418,932
仕掛品	87,298	84,602
原材料及び貯蔵品	264,730	290,412
その他	198,208	117,106
貸倒引当金	△2,520	△2,096
流動資産合計	7,145,005	6,973,431
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,062,144	1,013,801
機械装置及び運搬具(純額)	1,977,970	1,844,698
土地及び砵山用土地	575,290	575,455
建設仮勘定	18,131	85,645
その他(純額)	52,261	44,270
有形固定資産合計	3,685,798	3,563,870
無形固定資産	50,066	48,295
投資その他の資産		
投資有価証券	1,933,575	2,471,454
投資不動産(純額)	240,677	245,428
その他	155,217	151,369
貸倒引当金	△3,365	△3,365
投資その他の資産合計	2,326,104	2,864,886
固定資産合計	6,061,970	6,477,052
資産合計	13,206,975	13,450,484
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,996,657	1,807,276
短期借入金	523,653	485,763
未払金	332,804	390,322
未払法人税等	81,076	114,285
賞与引当金	177,000	172,000
役員賞与引当金	14,160	4,719
その他	130,370	183,833
流動負債合計	3,255,722	3,158,200
固定負債		
社債	500,000	500,000
長期借入金	1,356,082	1,156,288
退職給付に係る負債	602,492	632,400
その他	443,024	556,900
固定負債合計	2,901,599	2,845,589
負債合計	6,157,321	6,003,789

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	871,500	871,500
資本剰余金	435,622	435,622
利益剰余金	4,411,566	4,593,428
自己株式	△75,207	△75,366
株主資本合計	5,643,482	5,825,185
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	993,856	1,270,510
為替換算調整勘定	73,032	1,204
その他の包括利益累計額合計	1,066,889	1,271,715
新株予約権	61,673	77,203
非支配株主持分	277,608	272,590
純資産合計	7,049,653	7,446,694
負債純資産合計	13,206,975	13,450,484

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	5,768,444	5,672,362
売上原価	4,712,292	4,424,373
売上総利益	1,056,152	1,247,989
販売費及び一般管理費	917,339	920,286
営業利益	138,812	327,702
営業外収益		
受取利息	1,602	451
受取配当金	14,766	27,449
不動産賃貸料	31,261	32,607
その他	5,914	8,634
営業外収益合計	53,544	69,143
営業外費用		
支払利息	8,160	5,628
デリバティブ評価損	572	—
為替差損	185	21,353
その他	3,994	3,355
営業外費用合計	12,912	30,337
経常利益	179,445	366,508
特別利益		
固定資産売却益	1,353	—
特別利益合計	1,353	—
特別損失		
固定資産処分損	3,045	2,240
特別損失合計	3,045	2,240
税金等調整前四半期純利益	177,752	364,268
法人税、住民税及び事業税	43,644	103,915
法人税等調整額	4,883	△1,882
法人税等合計	48,527	102,033
四半期純利益	129,225	262,235
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,006	12,946
親会社株主に帰属する四半期純利益	119,219	249,288

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	129,225	262,235
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△590,146	276,562
為替換算調整勘定	10,414	△88,851
その他の包括利益合計	△579,732	187,710
四半期包括利益	△450,506	449,946
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△462,460	454,114
非支配株主に係る四半期包括利益	11,953	△4,168

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	177,752	364,268
減価償却費	378,436	314,960
株式報酬費用	20,162	15,529
固定資産処分損益(△は益)	3,045	2,240
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,353	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△417	△423
賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,000	△5,000
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,779	△9,440
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,024	29,907
受取利息及び受取配当金	△16,369	△27,900
支払利息	8,160	5,628
デリバティブ評価損益(△は益)	572	—
売上債権の増減額(△は増加)	111,753	192,095
たな卸資産の増減額(△は増加)	21,602	57,128
仕入債務の増減額(△は減少)	18,998	△197,321
未払金の増減額(△は減少)	△40,923	24,934
未払消費税等の増減額(△は減少)	△27,270	△71,019
その他	△44,790	77,539
小計	594,604	773,128
利息及び配当金の受取額	16,369	27,900
利息の支払額	△7,699	13,824
法人税等の支払額	△38,494	△76,715
営業活動によるキャッシュ・フロー	564,779	738,138
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△14	△68,890
有形固定資産の取得による支出	△258,157	△107,902
有形固定資産の売却による収入	1,353	—
無形固定資産の取得による支出	△740	△850
投資有価証券の取得による支出	△2,186	△141,686
投資有価証券の償還による収入	—	50,000
その他	△12,643	575
投資活動によるキャッシュ・フロー	△272,389	△268,753
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△100,000	—
長期借入れによる収入	400,000	—
長期借入金の返済による支出	△246,182	△234,251
配当金の支払額	△67,060	△67,519
非支配株主への配当金の支払額	△850	△850
その他	△1,199	△1,244
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,292	△303,865
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,293	△28,637
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	278,390	136,882
現金及び現金同等物の期首残高	1,118,054	1,636,155
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	2,076
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,396,444	1,775,113

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、炭酸カルシウムの製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載は省略しております。

4. 補足情報

〔生産、受注及び販売の状況〕

①生産実績

当第2四半期連結累計期間におけるグループ生産実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
化合炭酸カルシウム	2,365	104.7
重質炭酸カルシウム	455	99.4
その他	135	103.3
合計	2,956	103.8

(注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注状況

製品について見込み生産を行っているため、該当事項はありません。

③販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をグループ内での製造品、グループ外からの購入品の別及び品目別に示すと、次のとおりであります。

	品目	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
グループ内製造品	化合炭酸カルシウム	2,397	104.1
	重質炭酸カルシウム	456	99.5
	その他	137	103.9
	小計	2,991	103.3
グループ外購入品	化合炭酸カルシウム	75	97.2
	重質炭酸カルシウム	1,099	97.4
	その他	1,506	90.3
	小計	2,681	93.3
合計		5,672	98.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

当第2四半期連結累計期間における販売実績を用途別に示すと、次のとおりであります。

用途	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
合成樹脂	2,628	104.5
塗料	1,483	87.5
輸出	459	101.1
食品・飼料	402	102.0
ゴム	339	96.1
その他	359	101.3
合計	5,672	98.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。